

(主な日本語訳聖書)

文語訳聖書		『舊新約聖書』あるいは『文語訳聖書』として知られる。日本語で単に文語訳聖書と言えば、あるいは聖書に関して
新約	1917	文語訳と言えば、ほとんどの場合、主に日本聖書協会が今日、目録番号の冒頭にJLを付して出版するこの文語訳『舊新約聖書』
旧約	1887	を指すのである。 書名はほかにも、奥付などには、その類にしたがって『大形文語聖書』『小形印照つき文語聖書』などのようにあるほか、同協会のウェブ上では同様に『文語訳 大型聖書』『文語訳 小型聖書』などとあり、表紙や背表紙、外函などでは同じく『舊新約聖書 文語訳』『舊新約聖書 印照附』などとある。抜粋のものには『文語訳 小型新約聖書詩篇附』などがある。 なお、「舊」は「旧」の異体字である。「訳」の異体字に「譯」があるが、『舊新約聖書 文語訳』などとはしないようである。 元来、この翻訳は大英国聖書会社、米国聖書会社、北英国聖書会社の日本支社の共同事業であった。 1874年、ヘボン、ブラウンらからなる翻訳委員社中によって新約聖書の翻訳がはじまり、約5年半の歳月をへて完成。 1878年に聖書常置委員会が組織され、これによる旧約聖書が1887年完成。今日、これらをあわせて『明治元訳聖書』という。この旧約部分と、1917年に新約聖書のみ完成した『大正改訳聖書』が本書に収録されている。 これらをあわせて考えると、明治期より昭和中期ごろまでに、日本でもっとも普及した聖書であると言える。広く日本の思想・文学に影響を与えた、愛読者が絶えない名訳である。
口語訳聖書		『口語訳聖書』といえば通常、日本聖書協会の翻訳・発行の『口語訳聖書』を指す。
新約	1954	明治以来、日本では、宣教師などのクリスチャンたちが、聖書を文語体の日本語で訳した文語訳聖書を発行してきたが、
旧約	1955	第二次世界大戦後には、口語体すなわち現代語による日本語訳が相次いだ。 本書は、二次世界大戦後に日本のプロテスタントのクリスチャンらの結成した日本聖書協会が初めて口語体で日本語訳し発行した聖書である。 「口語聖書」「口語訳聖書」あるいは聖書について単に「口語訳」といえば、第一に指すのが本書である。 訳業としては、2018年12月に『聖書協会共同訳』が登場するまで、日本聖書協会自身による聖書翻訳は本書が唯一であった。 『文語訳』は各国聖書協会、『新共同訳』は共同訳聖書実行委員会による。 正式英語名が Bible, Colloquial Japanese であるため、聖書協会世界連盟における本書の目録番号はJCで始まる。 『文語訳聖書』(Bible, Classical Japanese)も同じ頭文字であるが、そちらの目録番号の始めはJLとなっており、JCは本書が獲得している。 先に完成したのが本書の末尾4分の1弱を占める新約聖書で、この部分の初版が1954年3月4日に上梓された。 この新約聖書は、ネストレらによる当時最新の校訂本(第21版)を底本とし、イエス・キリストの時代の共通語である古代ギリシア語のコイナーから直接訳された。 旧約聖書の初版完成は翌1955年3月である。 旧約は、底本をルドルフ・キッテルらによる古代の聖書ヘブル語校訂本『ビブリア・ヘブライカ』第3版によるべきことを申し合わせ、大体的方針としてマソラ・テキストによるべきとし、聖霊の導きを祈り求めつつ、古代訳から当時までに進歩発達していた旧約学による原典研究の粋を尽くして全部の訳稿が整った同年9月末から半年の間訳稿の整理修正に努め、完成を見るに至った。 第二正典ないし旧約続編はプロテスタントでは正典とされない為に本書には含まれない。 文語訳聖書ゆずりの歯切れよい文体は、聖句を暗唱し、信仰生活の標語として心に留め、それによって神の導きを受けるのに適していると称える愛用者は現在も多い。
新共同訳		聖書 新共同訳(せいしよ しんきょうどうやく・英: New Interconfessional Version)は、日本聖書協会が出版した、
新約	1987	キリスト教の正典とされる諸文書を集めた書である「聖書」の邦訳本である。「新共同訳聖書」と呼ばれることもある。
旧約	1987	1969年(昭和44年)には日本聖書協会に日本聖書翻訳研究会が置かれるとともに、カトリック司教団と日本聖書協会の共同委員会として聖書訳語委員会及び共同訳聖書可能性検討委員会が組織された。共同訳聖書可能性検討委員会は一年間の討議を経て、共同訳聖書の実現は可能かつ必要であると答申した。 共同訳聖書実行委員会は、この「標準原則」で謳う「意味がよく通じ、しかも公衆の面前で朗読できるような文章を目指すべき」という一文から、対象とする読者を「信者ではない大衆」と、訳文はユージン・アルパート・ナイダに

先導され動的等価翻訳理論で得られる「直訳を避けた日本語として妥当な表現」が正しいとした。底本は、旧約聖書はルドルフ・キッテル編纂のビブリア・ヘブライカ第3版、新約聖書は聖書協会世界連盟のギリシア語新約聖書第3版、外典はゲッティンゲン研究所のギリシア語旧約聖書などを用いることが決まった。共同訳聖書実行委員会に続き、1972年（昭和47年）には翻訳者協議会及び編集委員会、1973年（昭和48年）には検討委員及び国語委員の各機関が整備され翻訳作業が始まった。

日本聖書協会はパイロット版として、1975年（昭和50年）に『ルカスによる福音書』を、1978年（昭和53年）に『新約聖書共同訳』を出版したが、その訳文について諸教会から採用に否定的な声が寄せられた。日本聖書協会は、釈明のために小冊子『新約聖書共同訳について』を出版し、聖書訳文の違いを塩ラーメンと味噌ラーメンに例えて抗弁したものの、理解は得られなかった

批判を受けて共同訳聖書実行委員会は、翻訳方針における対象読者を「大衆」から「教会」に、翻訳理論は動的等価理論（意識）を放棄し逐語訳に変更した。それによって既に校了していた新約聖書は勿論、取り掛かっていた旧約聖書の翻訳はやり直しとなり、更なる時間と混乱を生み出すこととなった。なお底本も改められ、旧約聖書はドイツ聖書協会のビブリア・ヘブライカ・シュトゥットガルテンシア、新約聖書は聖書協会世界連盟のギリシア語新約聖書修正第3版、第二正典はゲッティンゲン研究所のギリシア語旧約聖書などが用いられた。

外典の扱い

本書には「標準原則」に従い、プロテスタント諸教会が外典（アポクリファ）とする文書群を、『旧約聖書続編』として旧約聖書と新約聖書の間に置いた版が用意された。外典のうち、カトリック教会が第二正典に含まれない3書は、白紙で挟んで特に区別した。これにより、カトリック教会、プロテスタント諸教会及び聖公会での使用に応えた。

脚註及び引照の扱い

脚註がついた版は発行されなかった。そのため初版発行時から、本来なら脚註で説明されるべき内容について附録で補った。引照つきについては、1989年（平成元年）ごろから製作が始まり1993年（平成5年）5月に発行した。引照箇所数は、旧約48,606、新約22,184、続編2,342[23]。内容については、共同訳聖書委員会が監修した。日本聖書協会は、この引照つきの発行を以て、新共同訳のラインナップが完成したとした。

批評[編集]

神学者の並木浩一は、旧約聖書の翻訳は新約聖書と異なり、本文の毀損、難読箇所、簡潔に過ぎる表現、多様なジャンルの文書、イメージに彩られた詩文など特有の問題があるため、」とした。

翻訳者

秋吉輝雄（立教女学院短大教授）、荒井章三（松陰女子学院大学教授）、古谷功（カトリック横浜教区司祭）、橋本滋男（同志社大学教授）、生原優（日本基督教団牧師）、秦剛平（多摩美術大学助教授）、速水敏彦（立教大学文学部長）、林嗣夫（日本基督教会牧師）、本田哲郎（フランシスコ会日本管区長）、堀田雄康（清泉女子大学教授）、法用涉（日本聖公会中部教区主教）、石川康輔（サレジオ会司祭）、今道瑤子（聖パウロ女子修道会修道女）、加納政弘（日本バプテスト同盟牧師）、川村輝典（東京女子大学教授）、川島貞雄（日本聖書神学校教授）、木田献一（立教大学教授）、清重尚弘（日本ルーテル神学大学学長）、小平卓保（鹿児島純心女子短大教授）、増田早苗（聖心会修道女）、松永希久夫（東京神学大学教授）、三好迪（弘前大学教授）、水谷博彦（日本聖公会司祭）、森紀旦（日本聖公会司祭）、鍋谷堯爾（神戸ルーテル神学校校長）、中村克孝（日本ルーテル神学大学教授）、中村和夫（西南学院大学教授）、西村俊昭（日本基督教団牧師）、野本真也（同志社大学教授）、大串元亮（東京神学大学講師）、大野恵正（活水女子大学教授）、太田道子（真生会館聖書センター研究員）、左近淑（東京神学大学学長）、里野泰昭（千葉大学教授）、柴田千頭男（日本ルーテル神学大学教授）、島田和人（福良キリスト教会牧師）、新見宏（元財団法人日本聖書協会総主事・1979年（昭和54年）12月歿）、菅沼英二（酪農学園大学教授）、高橋重幸（トラヒスト修道会司祭）、高橋敬基（日本基督教団牧師）、時田光彦（西南女学院短大教授）、十時英二（東洋英和女学院短大教授）、宇佐美公史（上智大学助教授）、和田幹男（英知大学教授）、吉田泰（明治学院大学教授）。

新改訳
初版

1970 新改訳聖書（しんかいやくせいしょ）は、日本聖書刊行会より発行された聖書で、原語（ヘブライ語、ギリシア語）からの日本語翻訳聖書のひとつ。旧約聖書と新約聖書の両方を含み、カトリック教会が第二正典と呼ぶ外典を含まない66巻の書

第2版
第3版
2017版

1978 からなる。1970年初版発行、1978年第2版発行、2003年に差別語等を見直した（例えば「らい病」をヘブライ語の原音に近い
2003 「ツアラアト」に変更した）第3版が刊行された。また、全面的な改訂作業を行い、『聖書 新改訳2017』として2017年10月
2017 に刊行された。

新改訳聖書は新改訳聖書刊行会が翻訳、日本聖書刊行会が発行、いのちのことば社が発売する。

日本聖書刊行会では、新改訳の特徴として、「聖書を『誤りなき神のみことば』と確信する42名の翻訳者による委員会訳」
などとしている。また、新改訳聖書刊行会では、特徴として、「聖書を『誤りなき神のみことば』と告白する福音主義の
立場に立つ委員会訳であること」、「特定の神学的立場に傾かないで、言語的に妥当であるかを尊重すること」などとする。
日本聖書協会刊行の口語訳や新共同訳などと並んで、日本において多く用いられている代表的な訳である。1970年発行以来
30年間で、1千万冊を超える新改訳聖書が頒布された。「新改訳」とは文語訳聖書の「改訳」に対する敬意から付けられた
名前である。

内容特徴

文語訳、口語訳聖書の伝統的固有名詞を継承している。

翻訳者の解釈を理解し易くするために欄外注に他の書簡の参照箇所や、〈別訳〉〈直訳〉〈異本〉〈原語〉（ヘブル語、
アラム語、ギリシア語）等を明記している。

敬語の簡素化がはかられている。

旧約聖書において、神の御名を太字の「主」で表し、その他の通常使われる「主」と区別している。

「燔祭」「素祭」などを「全焼のいけにえ」「穀物のささげ物」など、解りやすい表記にしている。

新約聖書はネストレの校訂本二十四版、旧約聖書はキッテルのビブリア・ヘブライカ七版に基づく、42名の翻訳者による
翻訳である。

新改訳聖書の正式英語名はNew Japanese Bibleとなっている。

本文批評は新アメリカ標準訳に準拠することになっていたが、旧約は日本語訳の方が早く進んだため、マソラに沿った。

英語訳聖書の国際版聖書（NIV）とのバイリンガル聖書が発行されている。ただし、NIVから訳されたわけではない。

第一人称、平仮名の「わたし」は神とイエスに用い、漢字の「私」をその他の人間に用いることで、聖書本文における会話が
どちらの言葉かを判別できるようになっている。

経緯

戦後、日本聖書協会より発行された口語訳聖書の翻訳方針が、やや自由主義神学的であったことから、福音派を中心に、
神やキリストの権威を弱めているという不満が起こった。しばしば見られる「であろう」という表現は曖昧であるという批判や、
またこのリベラルな傾向は当時発行された英語聖書の改訂標準訳聖書（RSV）に追随するものだという批判もあった。

そのため福音派の団体である日本プロテスタント聖書信仰同盟（JPC）は代表を送り、説明と訂正を求めたが、当時の
日本聖書協会総主事都田恒太郎は応じなかった。この経緯から聖書信仰に立つ聖書学者の翻訳になる新改訳聖書が発行された。

1961年11月21日、新改訳聖書の翻訳のために、福音的な諸教派の協力を要請して、新改訳聖書刊行協力会が28名によって
形成された。

1962年K. マクベティ、堀川勇らによって、新改訳聖書刊行会が組織された。1962年から翻訳作業が開始され、1965年に

新約聖書が、1970年に旧約聖書が出版された。新約の翻訳主事は松尾武で、旧約の翻訳主任は名尾耕作、編集主事は
舟喜順一であった。発行に際して新アメリカ標準訳聖書（NASB）を発行する米国ロックマン財団（The Lockman Foundation）の
財政的支援を受け、翻訳方針もNASBを踏襲するものであった。ロックマン財団の献金額は総必要額の46%におよび、献金は
1966年8月まで行われた。

* 新改訳2017は完全に日本の団体で完結しており、米国の財団の著作権は全くなし、ということになり、日本の福音派の米国
キリスト教団体からの呪縛から離れることができている、と評価できます。

聖書協会共同訳

2018 共同訳聖書実行委員会に置かれた編集実務委員会は、新共同訳の訳文に関する照会の検討や将来の改訂等への助言を行うため、
発行後も残置されたが、暫くして発展的に共同訳聖書委員会に改組された。共同訳聖書委員会は2010年（平成22年）

10月9日まで活動を続け、その後は日本聖書協会翻訳部に引き継がれた。

そのため福音派の団体である日本プロテスタント聖書信仰同盟（JPC）は代表を送り、説明と訂正を求めたが、当時の後、聖書協会
が中心となり、新共同訳の全面、再翻訳をしたのが聖書協会共同訳である。東京神学大学の教職が積極的に参加した。

2010年頃より口語訳の著作権所有者である日本聖書協会が中心となり新共同訳聖書の全面見直しの聖書翻訳をする検討が

始まり、2018年11月に発行された聖書。「新改訳聖書」の聖書原典に忠実な姿勢をも評価し、「新改訳2017」に近づいた結果となっています。

(神のかたち)

創世記 1.27

文語訳 神其像(かたち)の如くに人を創造(つくり)たまへり即ち神の像(かたち)の如くに之を創造(つくり)之を男と女に創造(つくり)たまへり


口語訳 神は自分のかたちに人を創造された。すなわち、神のかたちに創造し、男と女とに創造された。

新共同訳 神は御自分にかたどって人を創造された。神にかたどって創造された。男と女に創造された。

エペソ 5:45 神にかたどって造られた新しい人を身に着け、真理に基づいた正しく清い生活を送るようにしなければなりません

「かたどって」 κατά θεόν

協会共同訳 神は人を自分のかたちに創造された。／神のかたちにこれを創造し／男と女に創造された。

「かたち」  statue, image, model, image, drawing n. ms. cs.

εἰκόνα εἰκών image, likeness n. acc. fs

as an artistic representation, such as on a coin or statue image, likeness

新改訳3 神は人をご自身のかたちとして創造された。神のかたちとして彼を創造し、男と女とに彼らを創造された。

新改訳2017 神は人をご自身のかたちとして創造された。神のかたちとして人を創造し、男と女に彼らを創造された。


コロサイ 1.15

口語訳 御子は、見えない神のかたちであって、すべての造られたものに先だって生れたかたである。

新共同訳 御子は、見えない神の姿であり、すべてのものが造られる前に生まれた方です。

協会共同訳 御子は、見えない神のかたちであり／すべてのものが造られる前に／最初に生まれた方です。

「かたち」 εἰκών εἰκών image, likeness n. nom. fs

 statue, image, model, image, drawing

新改訳3 御子は、見えない神のかたちであり、造られたすべてのものより先に生まれた方です。

新改訳2017 御子は、見えない神のかたちであり、すべての造られたものより先に生まれた方です。

(幸いな者)

詩編 1.01

文語訳 悪(あし)きものの謀略(はかりごと)にあゆまず つみびとの途(みち)にたたず 嘲(あざけ)るものの座にすわらぬ者はさいはひなり

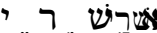
口語訳 悪しき者のはかりごとに歩まず、罪びとの道に立たず、あざける者の座にすわらぬ人はさいわいである。

新共同訳 いかに幸いなことか／神に逆らう者の計らいに従って歩まず／罪ある者の道にとどまらず／傲慢(ごうまん)な者と共に座らず

LXA Blessed is the man who has not walked in the counsel of the ungodly, and has not stood in the way of sinners, and has not sat in the seat of evil men.

VUL Blessed is the man who hath not walked in the counsel of the ungodly, nor stood in the way of sinners, nor sat in the chair of pestilence: (DOUAY-RHEIMS)

協会共同訳 幸いな者／悪しき者の謀(はかりごと)に歩まず／罪人の道に立たず／嘲る者の座に着かない人。

「幸いな者」  ortunate, blessed (he, they) part. interj.

μακάριος μακάριος blessed, fortunate adj. nom. ms
of persons characterized by transcendent happiness or religious joy blessed, happy

「嘲る者」 יִגְלִי בabbler, scoffer n. mp. abs

新改訳3 幸いなことよ。悪者のはかりごとに歩まず、罪人の道に立たず、あざける者の座に着かなかつた、その人。
新改訳2017 幸いなことよ 悪しき者のはかりごとに歩まず 罪人の道に立たず 嘲る者の座に着かない人。

(悪しき者)

詩編 1.05

文語訳 然(され)ばあしきものは審判(さばき)にたへず罪人は義(ただし)きものの會(つどひ)にたつことを得ざるなり

口語訳 それゆえ、悪しき者はさばきに耐えない。罪びとは正しい者のつどいに立つことができない。

LXA Therefore the ungodly shall not rise in judgment, nor sinners in the counsel of the just.

新共同訳 神に逆らう者は裁きに堪えず／罪ある者は神に従う人の集いに堪えない。

協会共同訳 悪しき者は裁きに／罪人は正しき者の集いに耐えられない。

「悪しき者」 יִמְעַשׂ שׂוּעָרָא wicked, criminal adj. mp. abs

ἀσεβείς ἀσεβής impious, godless adj. nom. mp

「正しき者」 יִשְׁקֵי צַדִּיקָא righteous, godly adj. mp. abs

δικαίων δίκαιος righteous, upright, just adj. gen. mp

「耐えられない」 מוֹדֵק קוּמְאֵי קוּמְאֵי stand up, get up v. qal. impf. 3mp

ἀναστήσονται ἀνίστημι raise, erect, raise up v. ind. fut. mid. 3p

新改訳3 それゆえ、悪者は、さばきの中に立ちおおせず、罪人は、正しい者のつどいに立てない。

新改訳2017 それゆえ 悪しき者はさばきに 罪人は正しい者の集いに 立ち得ない。

詩編 23.02

文語訳 エホバは我をみどりの野にふさせ いこひの水濱(みぎは)にともなひたまふ

口語訳 主はわたしを緑の牧場に伏させ、いこひのみぎわに伴われる。

新共同訳 主はわたしを青草の原に休ませ／憩いの水のほとりに伴い

協会共同訳 主は私を緑の野に伏させ／憩いの汀(みぎわ)に伴われる。

「みぎわ」 מְנוּחָה מִן הַיַּד resting-place n. fp. abs

ἀναπαύσεως ἀνάπαυσις rest, repose; of spiritual rest n. gen. fs

新改訳3 主は私を緑の牧場に伏させ、いこひの水のほとりに伴われます。

新改訳2017 主は私を緑の牧場に伏させ いこひのみぎわに伴われます。

詩編 23.06

文語訳 わが世にあらん限りはかならず恩恵(めぐみ)と憐憫(あわれみ)とわれにそひきたらん 我はとこしへにエホバの宮にすまん

口語訳 わたしの生きているかぎり／必ず恵みといつくしみとが伴うでしょう。わたしはとこしえに主の宮に住むでしょう。

口語訳 27.04 わたしは一つの事を主に願った、わたしはそれを求める。わたしの生きるかぎり、主の家に住んで、主のうるわしきを見、その宮で尋ねきわめることを。

LXA Thy mercy also shall follow me all the days of my life: and my dwelling shall be in the house of the Lord

for a very long time.
命のある限り／恵みと慈しみはいつもわたしを追う。主の家にわたしは帰り／生涯、そこにとどまるであろう。
命あるかぎり／恵みと慈しみが私を追う。／私は主の家に住もう／日の続くかぎり。

「住もう」 יָשַׁבְתִּי לָבוֹא return, go back, come back v. qal. perf. 1cs
יָשַׁבְתִּי לָבוֹא sit down, dwell, live v. qal. inf. const. +suff. 1cs
κατοικεῖν κατοικέω dwell in, settle down in v. inf. pres. act

新改訳3 まことに、私のいのちの日の限り、いつくしみと 恵みとが、私を追って来るでしょう。 私は、いつまでも、主の家に住まいます。

新改訳2017 まことに 私のいのちの日の限り いつくしみと恵みが 私を追って来るでしょう。 私はいつまでも 主の家に住みます。

コヘレト 1.02

文語訳 傳道者言（いわ）く 空の空 空の空なる哉 都（すべ）て空なり
口語訳 伝道者は言う、空の空、空の空、いっさいは空である。
LXA Vanity of vanities, said the Preacher, vanity of vanities; all is vanity.
新共同訳 コヘレトは言う。なんという空しさ／なんという空しさ、すべては空しい。
協会共同訳 コヘレトは言う。／空の空／空の空、一切は空である。

「空」 הַבְּלָאוֹת nothingness, perishableness n. ms, cs
ματαιότης ματαιότης strictly nonsense, nothingness, emptiness n. nom. fs

新改訳3 空の空。伝道者は言う。 空の空。すべては空。
新改訳2017 空の空。伝道者は言う。空の空。すべては空。
般若心経 色即是空 空即是色

日本では仏教各派、特に法相宗・天台宗・真言宗・禅宗が般若心経を使用し、その宗派独特の解釈を行っている。

（規程の病）

マルコ 1.40

文語訳 一人の癩病人來たり、跪（ひざま）づき請いて言ふ。『御意（みこころ）ならば、我を潔 きよ 給ふ得ん』
口語訳 ひとりの重い皮膚病にかかった人が、イエスのところに願いにきて、ひざまずいて言った、「みこころでしたら、きよめていただけるのですが」。
新共同訳 さて、重い皮膚病を患っている人が、イエスのところに来てひざまずいて願い、「御心ならば、わたしを清くすることがおできになります」と言った。
協会共同訳 さて、規定の病を患っている人が、イエスのところに来て、ひざまずいて願い、「お望みならば、私を清くすることがおできになります」と言った。

「規定の病」 λεπρός λεπρός leprous adj. nom. ms
עָרַבְתָּ only pass., be struck with leprosy v. pual. part. ms. abs

新改訳3 さて、ツアラアトに冒された人がイエスのみもとに願いにきて、ひざまずいて言った。「お心一つで、私をきよくしていただけます。」

新改訳2017 さて、ツアラアトに冒された人がイエスのもとに来て、ひざまずいて懇願した。「お心一つで、私をきよくすることがおできになります。」

須藤伊知郎 汚れの病
森田 白癩病

(建てる、よみがえらせる)

ヨハネ 2. 20
口語訳

そこで、ユダヤ人たちは言った、「この神殿を建てるのには、四十六年もかかっています。それなのに、あなたは三日のうちに、それを建てるのですか」。

新共同訳
協会共同訳

それでユダヤ人たちは、「この神殿は建てるのに四十六年もかかったのに、あなたは三日で建て直すのか」と言った。

それでユダヤ人たちは、「この神殿は建てるのに四十六年もかかったのに、三日で建て直すと言うのか」と言った。

「建てる」 οἰκοδομήθη οἰκοδομέω build, erect v. indi. aor. pass. 3s

「建て直す」 ἐγερεῖς ἐγείρω Raise, help to rise v. indi. fut. act. 2s

新改訳3
新改訳2017

そこで、ユダヤ人たちは言った。「この神殿は建てるのに四十六年かかりました。あなたはそれを、三日で建てるのですか。」

そこで、ユダヤ人たちは言った。「この神殿は建てるのに四十六年かかった。あなたはそれを三日でよみがえらせるのか。」

ヨハネ 2. 22

それで、イエスが死人の中からよみがえられたとき、弟子たちは、イエスがこのように言われたことを思い起こして、聖書とイエスが言われたことばとを信じた。

「よみがえられた」 ἠγέρθη ἐγείρω Raise, help to rise v. indi. aor. pass. 3s

ἐγείρω 143, raised(45), get up(15), ---raised from the dead(6), ---

死者のよみがえりへの使用

ヨハネ12. 01、12. 09、12. 09. 21. 04、使徒4. 10、5. 3010. 4013. 3013. 37、ローマ6. 04、6. 09、7. 04、8. 11、10. 09

(ダニエル書第11章)

ダニエル 11. 01

口語訳

わたしはまたメディアびとダリヨスの元年に立って彼を強め、彼を力づけたことがあります。

新共同訳

彼はわたしを支え、力づけてくれる。

協会共同訳

私は、メディア人ダレイオスの治世第一年に、彼を励まし、力づけるために立ち上がった。

新改訳3

——私はメディア人ダリヨスの元年に、彼を強くし、彼を力づけるために立ち上がった。——

新改訳2017

私はその彼を強くし、力づけるために、メディア人ダレイオスの元年に立ち上がった。」

וְאֲנִי בְּשָׁנָה אֶתְּחַלֵּךְ לְדָרְךָ יְהוָה מְדַעַמְדָּמְךָ לְמַלְכֵי מֵדְיָה וְלְיָקִים וְלְעַמְּךָ לְיָהּ

καὶ ἐν τῷ ἐνιαυτῷ τῷ πρώτῳ Κύρου τοῦ βασιλέως εἶπέν μοι ἐνισχύσαι καὶ ἀνδρῖζεσθαι

And I in the first year of Cyrus stood to strengthen and confirm him.

(パウロの「呪う」)

1 コリ 16. 22

口語訳

もし主を愛さない者があれば、のろわれよ。マラナ・タ（われらの主よ、きたりませ）。

新共同訳

主を愛さない者は、神から見捨てられるがいい。マラナ・タ（主よ、来てください）。

協会共同訳

主を愛さない者は、呪われよ。主よ、来りませ。

新改訳3

主を愛さない者はだれでも、のろわれよ。主よ、来てください。

新改訳2017

主を愛さない者はみな、のろわれよ。主よ、来てください。

フラン訳

主を愛さない者がいるなら、その者に呪いあれ。[主よ来てください]

「呪われよ」 ἦτω ἀνάθεμα ἀνάθεμα n. nom. ns

in a negative sense, as someone delivered over to divine wrath curse, one accursed

οὐ γάρ κ' οὐ γάρ κ' v. qal. imp. 3ms

εἴ τις οὐ φιλεῖ τὸν κύριον, ἦτω ἀνάθεμα. μαράνα θά.

מִשְׁלָא יְאֵה־בּוּא תִהְיֶה אֲדוֹן יְשׁוּעָה - חַיִּי רַמְרָם רַן אֶת־אֵלֶיךָ

(聖絶)
ヨシュア
口語訳

2. 10

あなたがたがエジプトから出てこられた時、主があなたがたの前で紅海の水を干されたこと、およびあなたがたが、ヨルダンの向こう側にいたアモリびとのふたりの王シホンとオグにされたこと、すなわちふたりを、全滅されたことを、わたしたちは聞いたからです。

新共同訳

あなたがたがエジプトを出たとき、あなたたちのために、主が葦の海の水を干上がらせたことや、あなたがたがヨルダン川の向こうのアモリ人の二人の王に対してしたこと、すなわち、シホンとオグを滅ぼし尽くしたことを、わたしたちは聞いています。

協会共同訳

あなたがたがエジプトから出て来たとき、主があなたがたの前で葦の海の水を干上がらせたこと、また、あなたがたがヨルダン川の向こう側にいたアモリ人の二人の王、シホンとオグを滅ぼし尽くしたことを、私たちは聞いています。

新改訳 3

あなたがたがエジプトから出て来られたとき、主があなたがたの前で、葦の海の水をからされたこと、また、あなたがたがヨルダン川の向こう側にいたアモリ人のふたりの王シホンとオグにされたこと、彼らを聖絶したことを、私たちは知っているからです。

新改訳2017

あなたがたがエジプトから出て来たとき、主があなたがたのために葦の海の水を涸らされたこと、そして、あなたがたが、あなたがたが、ヨルダンの川向こうにいたアモリ人の二人の王シホンとオグにしたこと、二人を聖絶したことを私たちは聞いたからです。

「聖絶した」 דָּבַר מְרַחֵק devoto to the ban, dedicate to destruction v.hiph.perf.2mp
ἐξολοθρεύσατε ἐξολοθρεύω utterly destroy, root out, completely cut offv.indi.aor.act.2p

フラン訳

奉納物として滅ぼし尽くしたことを、わたしたちは聞いています。

ヨシュア
口語訳

6. 17

この町と、その中のすべてのものは、主への奉納物として滅ぼされなければならない。ただし遊女ラハブと、その家に共におる者はみな生かしておかなければならない。われわれが送った使者たちをかくまったからである。町とそこにあるものは、ことごとく滅ぼし尽くして主にささげよ。ただし、遊女ラハブおよび彼女と一緒に家の中にいる者は皆、生かしておきなさい。我々が遣わした使いをかくまってくれたからである。

新共同訳

この町とそこにあるすべてのものを滅ぼし尽くし、主への献げ物とせよ。ただし、遊女ラハブと彼女の家にいるすべての者は生かしておきなさい。彼女は私たちが遣わした使者をかくまってくれたからである。

協会共同訳

この町と町の中のすべてのものを、主のために聖絶しなさい。ただし遊女ラハブと、その家に共にいる者たちは、すべて生かしておかなければならない。あの女は私たちの送った使者たちをかくまってくれたからだ。

新改訳 3

この町と町の中のすべてのものを、主のために聖絶しなさい。ただし遊女ラハブと、その家に共にいる者たちは、すべて生かしておかなければならない。あの女は私たちの送った使者たちをかくまってくれたからだ。

新改訳2017

町とそこにあるすべてのものは、主への奉納物として滅ぼし尽くせ。ただし、娼婦ラハブと彼女とともに家の中にいる者はみな、生かしておけ。彼女はわれわれが遣わした斥候を匿ってくれたからである。

マラキ
口語訳

4. 06

彼は父の心をその子供たちに向けさせ、子供たちの心をその父に向けさせる。これはわたしが来て、のろいをもってこの国を撃つことのないようにするためである」。

新共同訳

彼は父の心を子に／子の心を父に向けさせる。わたしが来て、破滅をもって／この地を撃つことがないように。

協会共同訳

彼は父の心を子らに／子らの心を父に向けさせる。／私が来て、この地を打ち滅ぼし尽くすことがないように。

新改訳 3

彼は、父の心を子に向けさせ、子の心をその父に向けさせる。それは、わたしが来て、のろいでこの地を打ち滅ぼさないためだ。」

新改訳2017

彼は、父の心を子に向けさせ、子の心をその父に向けさせる。それは、わたしが来て、のろいでこの地を打ち滅ぼさないためだ。」

フラン記 彼は、父の心を子に向けさせ、子の心をその父に向けさせる。わたしが来て、地を呪いで滅亡させることのないためである。」

(贖いの座)

ローマ 3. 25

口語訳

新共同訳

協会共同訳

神はこのキリストを立てて、その血による、信仰をもって受くべきあがないの供え物とされた。それは神の義を示すためであった。すなわち、今までに犯された罪を、神は忍耐をもって見のがしておられたが、神はこのキリストを立て、その血によって信じる者のために罪を償う供え物となさいました。それは、今まで人が犯した罪を見逃して、神の義をお示しになるためです。
神はこのイエスを、真実による、またその血による贖いの座とされました。それは、これまでに犯されてきた罪を見逃して、ご自身の義を示すためでした。

「贖いの座」 ἱλαστήριον ἱλαστήριον means of expiation, place of expiation n. acc. ns

הַרְבֵּי־חַטָּאת propitiatory

レビ

16. 14 雄牛の血を取り、指で贖いの座の東側に振りかけ、それから贖いの座の正面に指でその血を七度振りかける。

新改訳3

新改訳2017

神は、キリスト・イエスを、その血による、また信仰による、なだめの供え物として、公にお示しになりました。それは、ご自身の義を現すためです。というのは、今までに犯されて来た罪を神の忍耐をもって見のがして来られたからです。
神はこの方を、信仰によって受けるべき、血による宥(なだ)めのささげ物として公に示されました。ご自分の義を明らかにされるためです。神は忍耐をもって、これまで犯されてきた罪を見逃してこられたのです。

	新改訳第三版	口語訳	新共同訳	JPS		
レビ1:2	エペソ5:2	ささげ物	供え物	エゼ40:43	献げ物	offering קָרְבָּן δῶρον
レビ1:3	マルコ12:33	全焼のいけにえ	燔祭	エゼ40:39	焼き尽くす献げ物	burnt-offering עֹלָה ὀλοκαύτωμα
レビ2:1	マタイ2:11	穀物のささげもの	素祭の供え物	エゼ42:13	穀物の献げ物	meal-offering מִנְחָה θυσία
レビ3:1	マタイ9:13	和解のいけにえ	酬恩祭の犠牲	エゼ40:42	和解の献げ物	peace-offering זְבִיחַ θυσία
レビ4:8	ヨハネ1:29	罪のためのいけにえ	罪祭	エゼ40:39	贖罪の献げ物	sin-offering חַטָּאת ἁμαρτία
レビ5:18		罪過のためのいけにえ	愆祭	エゼ40:39	賠償の献げ物	guilt-offering אֲשָׁם ἄγνοια
出エ29:18	ピリピ4. 18	火によるささげ物	火祭	エゼ40:39	焼き尽くす献げ物	burnt-offering עֹלָה ὀλοκαύτωμα
レビ2:14		初穂のささげもの	初穂の素祭	エゼ42:13	初穂の献げ物	meal-offering מִנְחָה θυσία
レビ16. 14	ローマ3:2	贖いのふた	贖罪所	NIL	贖いの座	ark-cover כַּפֹּת הַיְלָאסְתֵּרִיּוֹן ἱλαστήριον
民数29:30		注ぎのささげ物	灌祭	エゼ45:17	ぶどう酒の献げ物	drink-offerings יָסַךְ σπονδή
1	ヨハネ2:2, 4:10	宥(なだ)めの献げ物	贖いの供え物		罪を償ういけにえ	atonement sacrifice מִזְבֵּחַ הַיְלָאסְמוֹס ἱλασμός
חַטָּאת						293, sin offering (105), sin (85), sins (74), sin offerings (8), punishment (3), cleansing (1), iniquities (1), --- Ge (4), Ex (8), Lev (many), Nu (many), Dr (5), ---Eze (24) ---

𐤀𐤓𐤍

46, guilt offering (29), guilt offerings (5), penalty (4), guilt (2), wrong (2), ---

Ge (1), Lev (27), Nu (4), ---Eze (4)

(掛詞 (かけことば、ヤヌス・パラレリズム)

雅歌 2.12

口語訳
新共同訳
協会共同訳
新改訳3
新改訳2017

もろもろの花は地にあらわれ、鳥のさえずる時がきた。山ばとの声がわれわれの地に聞える。
花は地に咲きいで、小鳥の歌うときが来た。この里にも山鳩の声が聞こえる。
花々が地に現れ／さえずりの季節がやって来ました。／山鳩の声が私たちの地に聞こえます。
地には花が咲き乱れ、歌の季節がやって来た。山鳩の声が、私たちの国に聞こえる。
地には花が咲き乱れ、刈り入れの季節がやって来て、山鳩の声が、私たちの国中に聞こえる。
(*あるいは「歌」。へ「ザミール」。「歌」と「刈り入れ」の意味を兼ね備えた語、掛詞)